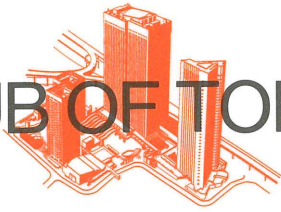




THE ROTARY CLUB OF TOKYO NEW-SOUTH



Weekly Report 東京新南ロータリークラブ週報

ROTARY: Sow the Seeds of Love

「ロータリー：慈愛の種を播きましょう」

2002～2003年度・国際ロータリーテーマ／ビチャイ・ラタクル会長

「ロータリーで喜びを！ー参加しよう、友達になろう、クラブライフを楽しもうー」

2002～2003年度・東京新南ロータリークラブテーマ／吉田用親会長

【本日の例会】2月21日 第782回例会

ロータリー創立98周年記念例会

◎卓話「ロータリーへようこそ」

元会長 柴本芳郎君

【先週報告】2月14日 第781回例会

夜間例会／レディス・デー (18:00～20:00)

◎卓話「ドロボウの現況と防犯対策」

防犯アドバイザー

美和ロック株式会社 顧問

稲田淳夫氏

(紹介者 佐々木会員)



◎会長報告

- ①東京駒場RCの西山真理子さん（地区大会実行委員会）が「地区大会のご案内」にお見えになりました。
- ②泉の家より、先日のチャリティコンサートへの支援に対してお礼状を頂きました。

◎慶事披露

誕生日祝／斉藤茂之君（2月18日）

◎出席報告

会員65名／出席43名・欠席22名（出席規定免除者8名）

ビジター／1名

ご家族／福島伸介、石井喜子、小杉克子、尾上和美、佐々木典子、田村光世、高須貴久代、立林清美、山川佐智子、吉田克枝、吉岡登美子（11名、敬称略）

世界理解月間（World Understanding Month）

1905年2月23日は、ポール・ハリス、ガスターバス・ローア、シルベスター・シール、ハイラム・ショーレーの4人がシカゴで初めて会合を開いた日で、2月を「世界理解月間」と指定、この月間中、ロータリークラブは世界平和に不可欠なものとして、理解と親善を協調するクラブ・プログラムを行うよう要請されている。

また2月23日の創立記念日は世界理解と平和の日（World Understanding and Peace Day）と定められ、各クラブはこの日、国際理解と友情と平和へのロータリーの献身を特に認め、協調しなければならない。1992年規定審議会は、2月23日に始まる1週間を世界理解と平和週間と呼び、ロータリーの奉仕活動を協調することを決議した。



2月14日／11件 26,000円

2002～2003年度累計 1,028,643円

多額のご寄付有難うございました。

佐々木忠行／稲田さん、本日の卓話よろしくお願ひします。吉田用親／本日のレディスディ、ご家族の皆様ようこそ！楽しんで下さい。小杉眞史／マディが無事帰国しました。ホストファミリーの皆様にお会い出来喜んでおりました。有難うございました。福島賢哉／今日は家内の代わりに、息子を出席させて頂きました。宜しくお願いします。石井謙次／ツムラヤさん、おかげで週報無事終わりました。高須康有／家内がお世話になります。圓谷正和／長女の彩永子（さえこ）が私立女子高最難関の慶応女子高に合格しました。入沢頼二／柴本さんに敬意を表して。谷村義雄／防犯卓話に期待して。関征春／拡大委員会へのご協力よろしくお願ひいたします。柴本芳郎／久しぶりにニコニコ担当しました。

【次週予告】2月28日 第783回例会

◎卓話予定

「国際情勢と日本外交」

株式会社博報堂 特別顧問

前駐タイ大使 岡崎久彦氏
(紹介者 立林会員)

アメリカの田舎町のロータリークラブ

海外出張の度に地元のロータリークラブでメークアップし、昨年一年間に7ヶ所のクラブとバナー交換をしてきました。「めんぼう」を利用して、アメリカの田舎町のロータリークラブのことを簡単に紹介してみようと思います。

海外出張といえば、一番よく行くのはやはり我社の本社のある米国ミネソタ州。ミネソタ州はカナダ、また五大湖の1つであるスベリア湖に隣接し、米国の中西部に位置する。米国の穀物倉庫と言われる位で穀物産業が中心であるが、3M(Mの1つはMinnesotaのM)で代表されるようなハイテク産業も重要な産業になっている。住民の大部分は北欧からの移民の子孫からなる(元米国副大統領、前日本駐在大使のモンデール氏はノルウェー系のミネソタ人である)。湖の多い美しい州であるが、冬は長く厳しい。摂氏零下30度というのも珍しいことではない。

ノースウエスト航空の本拠地であるミネアポリス/セントポール空港から、とうもろこし畑を約100キロ西にいったところにあるハッチンソン市に我社の本社がある。人口1万2千人の小さな田舎町である。普段私が出席するクラブは地元のハッチンソン・ロータリークラブであるが、その他近所のクラブの例会にもよく出席する。これらのクラブの間に共通することは、質素なこと、形式ばっていないということであろう。服装は仕事着、ということはネクタイをしている人は殆どいない。例会費は6、7ドルで、年会費は100ドル位だそうである。勿論この費用では豪華な食事はできない。セルフサービスで、紙ナプキン、プラスチックのフォーク、ナイフを使つての質素な食事である。どこの例会でも、トランプや、ラッフルチケット等による籤引きをしている。当たった人は賞金を自分のものにしたり、一部をニコニコボックスに入れたりしている。籤引きの参加費は通常1ドルである。ニコニコは例会開始前ではなく、例会中に担当者が会場をまわり寄付金を集めている。ニコニコボックスはクッキーの箱であつたり、教会で使うザルのような寄付金受けであつたりする。入れる額は通常1ドル、2ドル程度のものであり、ニコニコの理由は、寄付金を入れる際に各人が皆に口頭で発表している。会員の職種は小さな町ということもあり、小売店の店主、農場主、牧師、警察官、葬儀屋、弁護士、銀行家等多岐にわたっている。

これらのクラブで特に感銘を受けたのは、本社から約50キロ離れたところにある、人口1900人のゲイロードという小さな農業町のクラブである。会員数は41名で、その内ポールハリスフェローは15名。都会から遠く離れ、世界から隔離されたような小さな町であるが、頻繁に全世界からロータリー青少年交換学生を受入れ、送出をしている。昨年度は

大阪から村田早織さんを受け入れていた。たまたま私が出席した日に彼女も例会に出席されていたが、彼女が通う高校のための寄付金集めのためのスピーチを皆の前で堂々と英語でされた時には感心した。最初のうちはホームシックにかかったらしいが、大阪のような大都市とは別世界での環境に順応し、楽しい毎日を送られているとのことである。

新南の会員であることは無条件で全世界の例会に出席できるパスポートを持っていることです。皆さんも機会があれば、海外のクラブでメークアップされてはいかがでしょうか。スタンディングオベーションで歓迎されること必至です。

地区クラブ奉仕委員長・広報委員長会議報告

クラブ奉仕委員長 小杉 修造

会員減少とロータリアンの高齢化にどうとりくむか？

2月13日/新高輪プリンスホテル

出席者・松崎勝一ガバナー、十蔵寺新地区クラブ奉仕委員長、司葉子地区広報委員長 他。

(グループ別報告)ガバナー補佐所属のクラブ奉仕委員長が、すでに提出していたアンケート集計をもとに報告。ただし新南RCが所属する千代田グループ・ガバナー補佐所属の日本橋RCクラブ奉仕委員長は自らのクラブの現状を報告したのみ。京浜グループ・五反田RCの委員長は会員増強と退会防止を説き、各クラブ50人の会員を維持するようにつとめる。山の手グループ・城西RCの委員長は所属する19クラブはお互いに会員減少でクラブ運営が厳しくなっている。会員数が60名を割らないようにしなければならない。年会費をみても、それぞれのクラブで25～36万円とかなりな幅がある。多摩南グループ・八王子RCの委員長は先ずは増強と退会防止、出席向上そして財政をあげている。何か名案があつたら教えてほしいと。多摩中グループ・国分寺RCの委員長は常にクラブ運営の円滑に努める。所属する3クラブはすでに会費を下げた。多摩東グループ・多摩RCの委員長はすでにニコニコ基金から委員会費を出している。経費節約のため卓話者は会員ですることになるべく努めている。

(十蔵寺地区委員長の話)各クラブから提出済のアンケートの結果によると、会員の年齢は全体の50パーセントが60歳以上、ロータリアンの高齢化が進んでいる。今まで拡大してきた子クラブとの合併を考えたら如何？ クラブ事務局の共有化などを指摘していた。

(松崎ガバナーの話)地区ロータリークラブで財政的に厳しいところがあるようだが、一クラブから地区への分担金は10パーセントぐらいにおさえたい、地区事務所の固定費をおさえたいなど、ロータリーも構造改革が必要になって来たようだ。続いて、司葉子広報委員長の報告があり2時間30分におよぶ勉強会は終わり、懇親会へと入った。

東京新南ロータリークラブ (<http://www.h3.dion.ne.jp/~newsouth>)

〔会長〕吉田用親 〔副会長〕小杉修造 〔幹事〕吉岡琢磨 〔会報委員長〕圓谷正和 〔今週の担当〕松浦敏生
事務局/〒107-0052 東京都港区赤坂2-19-8 赤坂2丁目アネックス3階 TEL: 03-3505-5976 FAX: 03-3505-6004 new-south@h9.dion.ne.jp
例会日・例会場/毎週金曜日 12時30分 東京全日空ホテル 〒107-0052 東京都港区赤坂1-12-33 TEL: 03-3505-1111